

連載

母が、脳梗塞になりました。③



しげ まる子

さいたま市在住
主婦 62歳。パート勤務
子育ても終わり夫と2人暮らし
孫4人

「小さな命に励まれながらの施設探し」

会田の面会も、一時間経つても病院からほおどがめなしでしたが、母から「ねむそろ帰りなさい」とうながされました。そりだよね。飛行機の時間もあるし、そろそろ行かなきゃ。

わたしは、母の肩を両手でがっちり掴んで、「絶対迎えに来るからね！ 待つてねー」としつかり田を見つめました。そして大粒の涙がぽろり。母は「泣いたらいいから。もー行きんしゃー」。脳梗塞になつてもやっぱり母は強しだな。

泣いたらダメ！ 前だけを見よー。振り返らずに

病室を出ました。埼玉の家に着いたのは夜の10時過ぎ、明日は仕事、頑張ろつ。

翌日、仕事から帰つて、夫はお風呂。わたしは食事の支度。いつも通りの流れです。そこに娘からのライ

やんのところに行つてあげてー」と背中を押してくれました。後で、聞いた話だと、前日から予兆はあったらしいのですが、わたしが心配するから言わないでくれていたみたいですね。ありがと…。

目の前にいる小さな小さな命が、母の施設探しに果然としていたわたしにエネルギーをくれました。

そんな中、母は脳神経外科病院からリハビリテーション病院に転院することになりました。病院での治療は終わり、リハビリテーション病院でリハビリをします。脳梗塞は最長5カ月の入院が可能ですね。つまり、この5カ月の間に埼玉の施設を探さなければなりません。

まずは、福岡でお世話になっていたケアマネジャーさんに連絡。

「心配してました。お母さん『動けなくなつたり、埼玉の次女さんと一緒に行きたい』って言つておられましたわんね」。ケアマネジャーさんにわんね?と聞いてくれてたんだ。嬉しいな。

ケアマネジャーさんが教えてくれたのは、まずは介護認定を取ること。介護認定の度合によって施設も変わってくるのです。有料老人ホームはお値段も良さそう。それが無理なら特別養護老人ホーム。リハビリをしてくれる老人健康組合の施設もあります。

費用から考へると母は特別養護老人ホームですね。この施設に入るには、要介護3以上じゃないと入れません。要介護3は簡単に言うと一人歩行が困難な人の

ようですね。詳しげはじめいろな区分があるみたいですね。現在の母の状況は要介護3。でも、リハビリで歩けるようになるかもしれない…。そしたらうわで一緒に暮らね。

でもココロームが必要になつてくるかな。お金どうしようかな。パート増やすかな。体力持つかな。あついからかん。マイナス方向に気持ちが行つてしまつた。仕切り直し。どうなれどもわたしは母を守る! これだけは変わらない。

まず、ケアマネジャーさんが教えてくれた地区の包括センターとやうに連絡をしてみましたが、最終的には間に入つてくれる業者さんのパンフレットを送りますので、その業者さんにお願いするか、区役所に「ハートページ」というさいたま市の介護施設が掲載されている無料の冊子があるので、それで探していくださると言わされました。

あれ? 意外と自力…。包括センターからいただいたA4を三つ折りにされた業者さんのパンフレットがなんとなくわたしの性に合わない気がしたので、とりあえずは区役所で「ハートページ」をもらひに行きました。「ハートページ」には諸々に区分された老人施設が載つていました。希望は特別養護老人ホームです。わたしが車で行ける範囲だと20件くらいありますね。とりあえず近場から電話してみよう。ちょっと緊張します。